

「PR TIMES」新バージョンをリリース

2015年、プレスリリースはより「パブリック」に

～ スタートアップ企業向け特典を開始、UI 一新で配信・受信を円滑化 ～

【トピックス】

- ✓ 企業発表を起点とする情報流通を飛躍的に加速させるためのバージョンアップ
- ✓ サイトのユーザインタフェースを一新し、プレス配信・受信がもっと便利に、さらに新機能も追加
- ✓ スタートアップ企業がミッションをクリアすると配信無料になるプログラムを始動！

株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、以下：PR TIMES）が運営するプレスリリース配信サービス「PR TIMES」は、2015年1月16日（金）に新バージョンを公開致しました。

国内シェア No.1（※1）、月間 320 万 PV（※2）のプレスリリース配信サービス

「PR TIMES」 <http://prtimes.jp/>

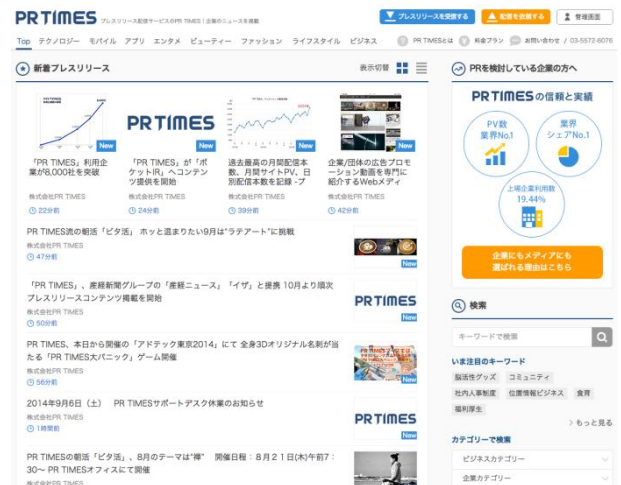
プレス配信と生活者への直接訴求を同時に行う情報発信スタイルが浸透する中、PR TIMES では企業発表を起点とする情報流通を飛躍的に加速させることを目的に、サービスのバージョンアップと間口を広げるプログラムを発表致します。

企業会員・メディア会員の管理画面ページを含む、サイトのユーザインタフェースを一新し、プレス配信・受信を更に効率化するのももちろん、企業と個人が直接つながるフォロー機能や、メディア記者の閲覧履歴から親和性の高いネタを表示するハイライト機能など、多くの新機能を加えました。

さらに、斬新なプロダクトやイノベティブなサービスなど、世の中に驚きを与えるニュースを一層多く届けられるよう、スタートアップ企業がミッションをクリアすると配信無料になるプログラム「PR TIMES スタートアップチャレンジ」を開始します。

「PR TIMES」では、仕組みとメニューの両面から、企業情報の発信者と受信者が増加する環境を構築し、また、良質なコンテンツの活用幅が拡大するようサポートしてまいります。

PR TIMES は、社会に求められることを優先する「パブリックファースト」を理念に掲げています。



（※1）…プレスリリース月間配信本数比較による（当社調べ）。2014年10月度実績で月間4,079本。

（※2）…Google アナリティクス調べ。2014年12月度実績で月間320万PV超。

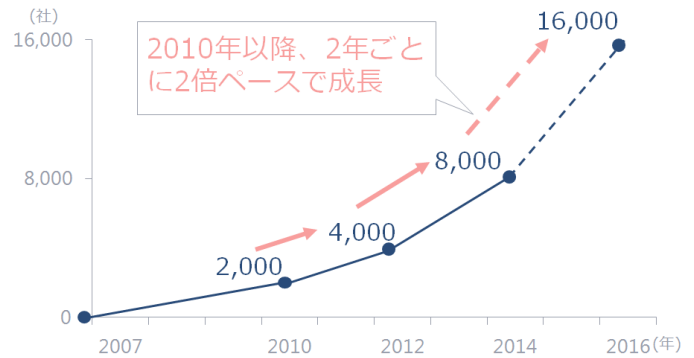
■代表・山口拓己のコメント

プレスリリースは従来、その名の通り「企業がメディアに情報を伝えるメディアリレーションズのツール」ですが、PR TIMES は2007年にサービス開始して以来、顧客企業がメディアへ情報を届けるだけにとどまらず、ステークホルダーや生活者と良好な関係を構築する場を目指してサービスを運営しています。PR TIMES は今回のバージョンアップを通じて、企業発の良いニュースが必然的に社会に広まるような機能を実現したいと考えています。

また、このたびのバージョンアップにあわせ、コーポレートロゴ兼サービスロゴを変更いたします。本日2015年1月16日より順次、切り替えていきます。

PR TIMES からプレスリリースを受け取ってくださる方々のお役に立ち、楽しませる存在でありたいという思いを込めています。これまでのロゴに比べ、やわらかく、親しみを持っていただけるデザインへ変更いたしました。

2010年以降の成長スピードを維持し、2016年に利用企業数1万6千社を達成する計画です。



■「PR TIMES」新機能

《全対象向け》

1	フォロー	生活者が企業のフォロワーとなり、最新情報をダイレクトにキャッチできる機能です。生活者と企業とのつながりを可視化し、両者の結び付きを今まで以上に強められます。
---	------	--

《プレスリリース配信企業向け管理画面》

2	メディアリスト かんたん登録	手間の掛かっていたリスト作成がもっと簡単に、もっと便利に。 新規会員登録後すぐに使えるリストを企業ジャンルに応じて自動でご用意。リスト作成画面も、直感的にメディア種類の比率を決めて、部数やPVに応じて絞り込める仕様に。
3	本文 リッチコンテンツ化	プレスリリース本文中に直接、Giflike/slideshare/表の挿入が可能に。 画像は角をスライドさせて直感的に大きさ変更可。表現方法の幅がさらに広がりました。
4	HTML メール配信	HTML メールでメール本文内に直接画像を表示させ、視覚効果を高められます。 これまで通りテキストメールを選択することもできます。
5	企業公式アカウント 連携	プレスリリース企業詳細ページに、Facebook アカウント、YouTube チャンネルを連携させて、最新投稿のフィードを表示させることができます。 メディア、生活者へ多角的な情報を訴求できます。
6	ソーシャルポスト と分析	PR TIMES 公式 Facebook と Twitter アカウントへの投稿を、プレスリリースごとに可否選択できます。また、各プレスリリースの Facebook いいね! 数、ツイート数、企業サポーターのいいね! 数を一覧表示できます。
7	スタートガイド	新たに会員登録された企業へ、配信にあたりまず押さえていただきたい手順を5ステップでご案内。ミッションをクリアすると FAX 配信 (通常 5,000 円) が1回無料に。 主流はメール配信になってきていますが、FAX での受信を希望されるメディアもあります。

【報道問い合わせ先】

■株式会社 PR TIMES 担当：三島 TEL：03-5572-6076

《メディア向け管理画面》

8	ハイライト機能	記者が欲しい情報を、これまでの閲覧履歴を元に自動的にピックアップして表示します。
9	タイムライン機能	受信設定をした企業のリリース記事を時系列で一覧表示。 個別の受信拒否設定も可能に。
10	スマートフォンログイン	現在、PR TIMES サイトのアクセスはスマートフォン経由が 5 割を超え、PC 経由より多くなっています。メディア記者からの「移動中の情報収集をより効率化したい」との声に応え、スマートフォン版サイトから会員画面へのログインを可能にしました。

■ スタートアップ企業がミッションをクリアすると配信無料！「PR TIMES スタートアップチャレンジ」

PR TIMES スタートアップチャレンジ

斬新なプロダクト、イノベティブなサービスなど、
世の中に驚きを与えるニュースを、PR TIMES から一層多く届けたい。
スタートアップ企業のお客様が条件をクリアすると、対象のプレスリリース
配信が“無料”になります。
私たちは、世界を変えるニュースをお待ちしています。

URL : <http://prtimes.jp/startup/>

スタートアップ企業要件

：設立年月が 24 ヶ月未満で上場企業の子会社でない企業

ミッション 1

：「企業のフォロワー数」が合計 50 人以上になる

ミッション 2

：配信後 24 時間以内に、当該リリースの PR TIMES 上のユニークユーザー数が 500 以上になる

「PR TIMES」 URL : <http://prtimes.jp/>

利用企業はサービス業、情報通信業、商業、製造業を中心に業種は多岐にわたり、プレスリリース配信シェアとサイト月間 PV 数は、共に国内 NO.1 を誇ります。また、国内上場企業の 21.7% に利用いただいており、数多くの優良企業のプレスリリースが集まる PR TIMES は、メディア関係者からの注目度もますます高まっていると言えます。2015 年 1 月にバージョンアップ。（運営：PR TIMES）

PR TIMES

【会社概要】

■ 株式会社 PR TIMES 概要

会社名 : 株式会社 PR TIMES

所在地 : 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 13F

設立 : 2005 年 12 月

代表取締役 : 山口 拓己

事業内容 : プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<http://prtimes.jp/>) の運営

オンライン上で話題化を図るデジタル PR の戦略立案・実施

WEB クリップサービス (<http://webclipping.jp/>) の提供

ソーシャルメディアユーザーのためのモニターサービス「conecc」(<https://conecc.jp/>) の運営

ブログマーケティングサービス「ブログタイムズ」(<https://blogtimes.jp/>) の運営

URL : <http://prtimes.co.jp/>

【報道問い合わせ先】

■ 株式会社 PR TIMES 担当：三島 TEL：03-5572-6076